



# 佐奈姫さまとお念仏③ 高山別院輪番:三島多聞

## ■仏法弘通

1641年、東本願寺第13代宣如上人の娘・佐奈姫は、照蓮寺第15代宣心(18~9歳)に嫁いだ。宣如にとって飛驒の山奥に9歳の娘を送ることは堪え難い心情であったと思われる。佐奈姫が飛驒に嫁いだのは、政治の力がはたらいていると思われる。この時、嘉念坊善俊上人以来の血統はすでに絶えていた。照蓮寺第14代宣了の妻は金森可重の娘・おいわであり、おなけという娘が生まれたが16歳で亡くなっている(詳細は略)。照蓮寺第15代を継いだのは金森重頼の三男・法名宣心である。すなわち照蓮寺といっても、内実は金森領主の血統で、いわば領主からの申し出があったものと推察される。簡単に断る訳にはいかなかった背景を想像する。宣如は仏法弘通のためと覚悟し、今度の婚姻を重視して「宗祖遺骨」(分骨)を佐奈姫に持参させた。

## ■佐奈姫親子の絆

宣如・佐奈姫親子は、深い愛情を手紙で交わしている。遠く離れているので、娘恋しさ父恋しさには深いものがあつたと思われる。佐奈姫の体調が崩れているのを気遣い、宣如は「くすし」(医者)を差し向けるよう言っている。また別の手紙では、宣如は持病があつて報恩講の朝のお勤めができなかったことや、江戸の大火で金森の上屋敷が炎上したこと、佐奈姫が父の病を思い、山芋を一箱送ったことの札状など、手紙から親子の愛情が垣間見られる。

## ■夫・宣心への気苦労

結婚して7年後、父・宣了が亡くなってからは、夫・宣心の生活は乱れていった。『岷江記』には次のようにある。

1. わがままになりたまい、虎を野に放したる如し
2. 国主(金森4代)は兄にて、望みかなわぬことなく
3. 本寺(本山)の宣如が義父であることを鼻にかけ
4. 末寺に課役をかけ、門徒に役銀を課し
5. 四方18ヶ寺を末寺なみにし
6. 気に入れば役に引き立て、気に入らねば勘当、追放、何事も気のまま
7. 行作、法義、露ほどもなく
8. 朝夕、贅を好み、別荘・松亭を松本に建て
9. 心猛く、思うままなので邪なること多く
10. 口論すれば味方をつけ

## 11. 立腹斬首に及ぶ

夫・宣心のこのあり様では佐奈姫の心情を察するに余りありません。

佐奈姫は1667年、35歳で京都で亡くなっている。病治療のため33歳ころ京都に帰っていたと思われる。息子・琢晴(10歳前後)を高山に置いての別れは切ないものであつたと推察される。

## ■佐奈姫の念仏

佐奈姫の寂しく悲しい生涯を偲ぶ時、お念仏はどのように佐奈姫を支える力となつたのか。

父・宣如、母・成等院と別れての飛驒入り、又、息子・琢晴と別れての帰京、別れてあることを支えたのは、「恋しくば南無阿弥陀仏となうべし 我も六字のうちにこそすめ」の親鸞聖人の歌にあつたと思う。この種の言葉を佐奈姫が飛驒入りするにあたり、親からせつせつと語られたのではないか。別れていても決して別れていないことを、念仏一声に託した教えを佐奈姫は生きる力にしたのだろう。

## ■恋しくば

「嘉念坊善俊上人顕彰会」で、上人の足跡を訪ねて箱根権現に行つたことがある。蓮如上人の時代までは境内に親鸞堂があつたそうで、『御伝鈔』にあるように、宗祖は権現の神官に歓待されている。懇願され箱根に暫く滞在し法を説いたと伝えられている。善俊上人が箱根で宗祖に会い真宗念仏に帰依したことで、飛驒に真宗が伝わった。宗祖が箱根を去る時、多くの人に止められた際に詠んだ詩が「恋しくば〜」である。箱根権現の宝物館に宗祖の木座像まであつた。

境内の奥には「親鸞慈悲の像」といわれている「殉国学徒慰霊之碑」があつた。なぜこの碑が建てられたのか。それは戦死した息子を偲ぶ時の何よりの確かな依りどころとして、伝えられてきた宗祖の「恋しくば南無阿弥陀仏となうべしわれも六字のうちにこそすめ」であつたからだろう。親と戦死の息子との相互に通ずる、悲しい別れが偲ばれる歌である。佐奈姫もまた同じように親から教えられた「お念仏で共に出遇わまいか」を胸に、その生涯を生きる力としたのだろうと思わせてもらう。

<おわり>



佐奈姫像

## 佐奈姫忌法要・松本墓所読経 松本町長寿会の方々によって松本墓所を管理法要前日には「女性研修会」を開催

毎年6月26日、松本町公民館において佐奈姫忌が勤められています。佐奈姫のご命日は6月27日ですが、親鸞聖人の御速夜に当たるため、繰り上げて26日に勤められています。

松本墓所は、もともと宣心と佐奈姫が居住した



佐奈姫忌(6月26日) 松本町公民館

佐奈姫墓所

「松亭」があつた場所で、現在、墓所の管理は松本町長寿会の皆さまに行ってもらっています。

またいつの頃からか、佐奈姫忌の前日の25日には、大谷婦人会と坊守会が合同で、「婦人聞法会(女性研修会)」を開催してきました。今、佐奈姫の御命日は、飛驒の女性方の聞法の間場となっています。

### 嘉念坊善俊上人顕彰会会報 No.32号 発行

しばらくお休みしていた顕彰会の会報を発行いたしました。

今回から全寺院にも配布いたしますので、是非お目通しください。



## 飛驒御坊真宗教化センター・高山別院 2025年5月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場			
1	木	14:00	教 法要教化部会	センター室	17	土						
2	金	14:00	七教 真宗同朋会・伝道部会合同会	研修室	18	日						
3	土	13:00	別 三日のご坊 法話:樋口博之氏(常照寺住職)	本堂	19	月	14:00	七 伝道部会	センター室			
4	日	7:00	別 半日華		20	火						
5	月				21	水						
6	火				22	木	16:00	七 両地区育成部会幹事会	研修室			
7	水	14:00	教 聖典・聖教学習会③	研修室	23	金						
8	木	14:00	教 寺院活性化支援会議	岐阜高山教務所	24	土						
		14:00	教 教区門徒会協議会			25	日	14:00	七 現代の問題講座	本堂		
9	金				26	月	7:00 14:00	別 半日華 教 支援員基礎講習⑤	岐阜高山教務所			
10	土				27	火	13:00	別 お速夜	本堂			
11	日	11:00 13:00	七 初まいり式 別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞(輪番)	本堂 御坊会館	28	水	13:00	別 親鸞聖人御命日 法話:三島見らん氏(西念寺住職)	本堂			
12	月		連 東海連区推進員連絡協議会研修会(〜13日)	岐阜高山教務所	29	木	19:00	教 教化研究所	研修室			
13	火	7:00 13:30	別 前住上人ご命日 組 高山2組組会	本堂 研修室	30	金	15:15	組 高山1組末日会	研修室			
14	水	13:00	連 東海連区坊守研修会	じゅうろくプラザ	31	土						
15	木	7:00 13:30 15:00	別 半日華 本 女性会議パブリックビューイング 組 益田組同朋会	センター室 永養寺	<b>2025年6月</b> ※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます。							
16	金	13:30	七 正副座長会	MTルーム	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
					2	月	13:30	七 企画会議	11	水	14:00	教 支援室「新住職のつどい」
					7	土	13:30	組 吉城組真宗公開講座	12	木	13:30	組 高山2組組会